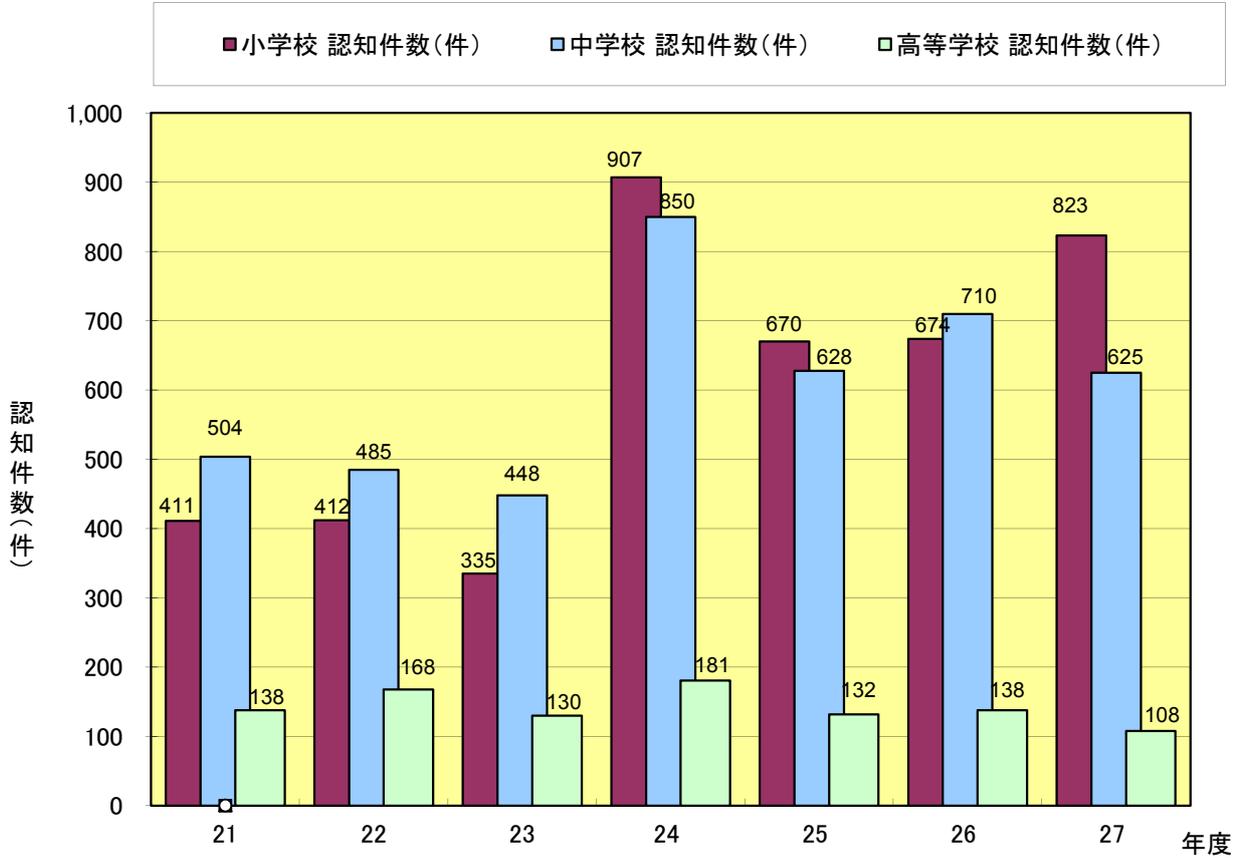


平成27年度 いじめの状況について
(県内国公私立・小中高特別支援学校)

心の支援課

1 校種別認知件数



年度		21	22	23	24	25	26	27
小学校	認知件数(件)	411	412	335	907	670	674	823
	前年度増減(件)	▲ 120	1	▲ 77	572	▲ 237	4	149
中学校	認知件数(件)	504	485	448	850	628	710	625
	前年度増減	▲ 79	▲ 19	▲ 37	402	▲ 222	82	▲ 85
高等学校	認知件数(件)	138	168	130	181	132	138	108
	前年度増減(件)	▲ 3	30	▲ 38	51	▲ 49	6	▲ 30
特別支援学校	認知件数(件)	2	2	1	22	25	23	11
	前年度増減(件)	1	0	▲ 1	21	3	▲ 2	▲ 12
合計	認知件数(件)	1,055	1,067	914	1,960	1,455	1,545	1,567
	前年度増減(件)	▲ 201	12	▲ 153	1,046	▲ 505	90	22

- (注) 1 調査名：文部科学省「平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
 2 高等学校においては、平成25年度から全日制・定時制課程に加え、通信制課程を調査対象とした。
 3 平成27年度調査対象校：県内国公私立・小中高特別支援学校計720校

・県内国公私立の小中高等学校におけるいじめの認知件数は、小学校823件(前年度比149件増)、中学校625件(前年度比85件減)、高等学校108件(前年度比30件減)、特別支援学校11件(前年度比12件減)である。

2 いじめ発見のきっかけ

[単位:件、%]

区分	件数	構成比%	
		県	国
本人からの訴え	419	26.7	17.2
アンケート調査などの学校の取組により発見	377	24.0	51.4
本人の保護者からの訴え	333	21.3	11.2
学級担任が発見	210	13.4	11.8
他の児童生徒からの情報	98	6.3	3.2
他の保護者からの情報	56	3.6	1.8
学級担任以外の教職員が発見	49	3.1	2.4
養護教諭が発見	12	0.8	0.4
学校以外の関係機関からの情報	10	0.6	0.2
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	2	0.1	0.2
地域の住民からの情報	1	0.1	0.1
その他(匿名による投書など)	0	0.0	0.1
計	1,567	100	100

(注)構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

3 いじめの現在の状況

[単位:件、%]

区分	件数	構成比%	
		県	国
解消しているもの	1,306	83.3	88.6
一定の解消が図られたが、継続支援中	208	13.3	9.2
解消に向けて取り組み中	49	3.1	1.9
その他	4	0.3	0.3
合計	1,567	100.0	100.0

・いじめ発見のきっかけは、「本人からの訴え」26.7%、「アンケート調査など学校の取組により発見」24.0%、「本人の保護者からの訴え」21.3%の順に多い。
 ・いじめの現在の状況では、「解消しているもの」「一定の解消が図られたが、継続支援中」と合わせて96.6%である。

4 課題と今後の対応

(1) 現状

- ・ いじめの認知件数は、小学校で増加、中学校・高等学校・特別支援学校で減少した。全体では前年度と比較して増加した。

(2) 課題

- ①いじめが起きにくい・いじめを許さない集団づくり(未然防止・早期発見)
- ②積極的ないじめの認知といじめ対策組織による適切な対応(早期発見・早期対応)

(3) 今後の対応

- ①いじめが起きにくい・いじめを許さない集団づくり(未然防止、早期発見)
 - ・「いじめは絶対に許されない」という意識を深める人権教育や道徳教育の充実
 - ・自らを大切に思う気持ち、他者を思いやる心を育むための取組
 - ・児童会・生徒会活動等による児童生徒の自主的・主体的取組の推進
 - ・インターネット利用における情報モラル教育の推進
- ②積極的ないじめの認知と組織による適切な対応(早期発見・早期対応)
 - ・すべての教職員が法における「いじめの定義」を再確認し、いじめを初期の段階から「いじめの防止等の対策のための組織」が中核となり、組織的に対応
 - ・定期的なアンケート調査や個人面談、生活記録等の実効性のある取組の推進
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の積極的な活用
 - ・いじめを受けた児童生徒及びその保護者に対するきめ細やかな支援
 - ・いじめを行った児童生徒に対する適切かつ迅速な指導および保護者への助言